

かんまき 議会だより

第116号

令和3年5月1日号



新名所!? 芝桜に映える「かんまき」

TOPICS

- 令和3年度予算 2~6
- 3月定例議会 7~8
- 議決結果 9
- 一般質問・議会日誌 10
- 一般質問 11~15
- マチイロ・カタログポケット
- YouTube 紹介 16

令和3年度
全予算可決しました!

予算特別委員会報告

委員長 竹之内 剛 副委員長 富木つや子
委員 遠山健太郎、康村昌史、木内利雄、ひがし充洋

3月5日の本会議で設置された予算特別委員会は、上記のメンバーで12日、15日、16日の3日間行われました。

令和3年度の各会計予算を可決

同委員会に付託された会計は、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計の7会計で、それぞれの会計予算について慎重審議の結果、全委員異議なく、原案通り可決するものと決しました。

なお、これら7会計予算については、3月25日の本会議でも全会一致で可決しました。

一 般 会 計		85億8,400万2千円				
入 る お 金	26億3,552万7千円	地方交付税	予 算 概 要	民生費	26億9,635万6千円	使 う お 金
	20億7,068万5千円	町 税		衛生費	15億4,259万2千円	
	12億2,532万円	国庫支出金		公債費	11億4,514万2千円	
	11億4,100万6千円	町 債		総務費	9億5,608万1千円	
	5億8,507万1千円	県支出金		教育費	8億8,630万8千円	
	4億724万2千円	地方消費税交付金		土木費	8億4,862万6千円	
	1億9,203万9千円	使用料及び手数料		消防費	2億9,942万1千円	
	1億1,737万2千円	分担金及び負担金		議会費	1億284万7千円	
	4,666万1千円	地方譲与税		農林商工業費	6,286万2千円	
	2,111万9千円	配当割交付金		諸支出金	2,376万5千円	
	156万9千円	繰入金		予備費	2,000万円	
	1億4,039万1千円	その他※		災害復旧費	2千円	

※その他は、利子交付金・株式等譲渡所得割交付金・法人事業税交付金・環境性能割交付金・
地方特例交付金・交通安全対策特別交付金・財産収入・寄附金・繰越金・諸収入 の合算です。

特 別 会 計	55億4,463万3千円	企 業 会 計	4億8,666万3千円
国民健康保険	24億6,067万2千円	水道事業	4億8,666万3千円
後期高齢者医療	3億9,759万1千円	(収益的収入)	
介護保険(保険事業勘定)	20億3,655万9千円		
介護保険(介護サービス勘定)	731万1千円		
住宅新築資金等貸付事業	153万円		
下水道事業	6億4,097万円		

《令和3年度の主な事業》

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| ☆ペガサスフェスタ2021 | ☆子育て世代包括支援センター事業 |
| ☆出会い・結婚・子育て応援事業 | ☆新型コロナウイルスワクチン接種事業 |
| ☆高齢者自転車用ヘルメット購入費補助事業 | ☆不燃ごみ等中継施設建設事業 |
| ☆香芝市・葛城市・北葛城郡コロナ検査センター
共同運営事業 | ☆学校適正化事業 |

一般会計予算

総括

問 本予算編成にあたり今中町長の令和3年度にかける想いは。

答 ここ数年、人口の転出者より転入者が多いという状況が見られ、やってきた施策が若者世代等に広まり選ばれる町に少しずつなってきたのかなと感じている。さらに実感をして頂くために、まず第一に教育施策、子育て施策をしっかりとしていきたいと考えている。住んでおられる方が、健やかな心身で、穏やかな生活ができる町づくりに、全力で進んでいく必要があると思っている。

今中町長の
想いは

康村昌史委員

問 本予算編成にあたり査定の段階で先送りになった事業はあるか。

答 本予算は町長選挙があった関係で骨格予算となっている。継続事業については重点的に計上させて頂いたが、新規事業については次の補正予算で計上していきたいと考えている。

問 本予算には教育関係の事業予算が多く計上されている。令和3年度の教育行政に対する想いを教育長にうかがいたい。

答 子どもを育てていく上で大事なトライアングル、地域と学校と家庭を重視しながら、上牧町に帰ってくる子どもたちをたくさん作りたいというのが一番のモットーである。知・徳・体のバランスの取れた教育を推進していきたい。今中町長4期目の公約の柱「学校の適正化」についても財政当局とも十分協議をしながら慎重に進めていきたい。



歳入

問 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う町税の影響について。

答 特に影響が大きいと予測される個人事業主や非正規労働者に対する普通徴収の部分について10%減、その他の特別徴収の部分については5%減、相対として所得割において6%程度の減収予測とした。

問 ふるさと納税による減少分をどの程度見込んでいるのか。

答 控除額ベースで前年並みの2,700万円程度を予測している。

問 最近のレジ袋有料化に伴い、透明な袋を購入する家庭が多い中、プラスチックごみの回収袋を町で手配する考えはないか。

答 今後検証しなければいけないかもしれないが、今後広域で処理するにあたりプラスチックごみは資源ごみとなるので、そのあたりも踏まえて検討したい。

問 上牧町の新型コロナウイルスワクチン供給状況と接種時期の説明を。

答 最初は3月中旬頃から接種を予定していたが、本町にはワクチンが4月中旬頃に225人分しか入ってこないため、先に高齢者施設の接種を計画している。はっきりとしたことは言えないが、一般住民への接種は5月頃の予定である。

ワクチンの接種
時期について

遠山健太郎委員

問 不動産売払収入について。今後の売却方針として、境界確定や不動産鑑定評価を入れる等をして費用倒れになるよりも、簿価等で現状販売をする等、売却の方針転換も必要ではないか。

答 現在は鑑定評価を取得し売却するのが基本であるが、検討委員会にも図り協議していきたい。

歳出

職員研修について

問 職員研修費24万5千円の説明を。

答 令和3年度予算では、宿泊を伴う研修費用7人分で13万円、その他の研修費用として11万円を計上した。その他の研修費用は人事異動に伴い、取得免許が必要な部署の研修を受けるための費用である。



職員の研修について

木内利雄委員

ホームページ保守管理委託料について

問 「町長の部屋」等の名称で行政のトップの考えや意見がわかるページを作れないか。

答 ホームページの更新を補正対応で予定しており、その際に検討する。

地域の安全安心推進事業費について

問 AEDリース料が令和2年度より25万9千円の増額となっているが説明を。

答 現在、学校等含め36カ所のAEDを設置している。令和3年度では、4カ所の更新と3カ所新たに設置する。場所については、新町第一公民館、緑ヶ丘公民館、片岡台2丁目公民館を予定している。

ペガサスフェスタ開催費について

問 委託料の増額理由は。

答 20周年としての記念事業と新型コロナウイルス感染症感染対策のため増額となっている。

出会い・結婚・子育て応援事業費について

問 報償費にある記念品の内容は。

答 かんまき未来創造マリッジサポーターの仲介により成婚され、上牧町内に新居を構えた方に対する記念品である。



NHK公開番組共催事業費について

問 今回誘致に至った背景は。

答 コロナ禍の中、少しでも住民の方々に明るいニュースを届けたいという思いと、上牧町の認知向上のため応募し誘致することとなった。

高齢者自転車用ヘルメット購入費補助金について

問 コロナ禍で高齢者の外出が減っていると思うが実績と見通しは。

答 令和2年度に35件の申請があった。今後も実施していきたい。

第5次総合計画後期計画策定支援業務委託料について

問 SDGsの視点を取り入れた本町の総合計画についての考え方は。

答 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を盛り込んだ総合計画を予定している。その中で17のゴール・165のターゲットで構成されているSDGsの視点を取り入れる考えである。具体的な内容については今後、検討する。

SDGsの視点を取り入れた考えは

富木つや子委員



学童保育運営費の増額について

問 修繕料の増額理由は。

答 上牧第三小学校学童保育所のアコンを付け替える費用を計上したためである。

町立第一保育所の防犯カメラリース料について

問 リース料の増額理由は。

答 園児の安全対策で防犯カメラの増設費用を計上したためである。

保健衛生費の赤ちゃん訪問事業費について

問 赤ちゃん訪問記念品の内容と内訳は。

答 商品を選べるカタログを訪問時にプレゼントをする事業で予定対象者90名を見込んでいる。

不妊・不育治療医療費の増額理由について

- 問 国においては令和4年度から、特定不妊治療が保険適用となる。本町では平成28年度から一般不妊・不育治療の助成事業が実施されているが、令和3年度の事業内容について伺う。
- 答 今年度の取り組みとして所得制限の撤廃を行った事等を含め、本町の不妊・不育治療助成事業の周知、啓発を行っていく。

ワクチン接種の移動支援について

- 問 新型コロナウイルスワクチン接種事業で接種者送迎委託料209万円が計上されているが説明を。
- 答 移動支援については、全庁的に実施する内容である。まだまとまっていない状況であり、現在どのような方法がいいのか他の自治体の事例も参考にしながら検討している。

住宅費のブロック塀撤去推進事業費について

- 問 ブロック塀撤去工事補助金を今年度も継続した理由について。
- 答 今年度より通学路のみの対象だったものを避難路に該当する道路沿いまで対象を広げ継続することとした。

学校園給食室エアコン設置工事について

- 問 給食室のドライ化まで設置しないとしていた方針を転換した理由と今後について。
- 答 近年の暑さ対策として方針を転換した。将来を見据えドライ化後は他の教室等に移設する計画である。

国際交流事業について

- 問 内容の説明を。
- 答 今年度は台湾への訪問、上牧町への来訪両方を予定している。あわせて年3回の遠隔授業を計画している。

学校適正化事業について

- 問 学校適正化業務支援委託料について。計画は2か年で予定しているが委託は単年か。
- 答 今年度のみの計上である。
- 問 本町の適正化事業における少人数学級の考え方は。
- 答 現在、学校適正化協議会を進めているが、少人数学級については、適正規模の配置を進めていかなければならない。諸課題として検討されているところである。

ICT事業費のGIGAスクールサポーター業務委託料について

- 問 財源については新型コロナウイルス地方創生臨時交付金の活用が可能とあるが、なぜ一般財源としたのか。
- 答 財政当局と検討した結果である。
- 問 配置人数1名では足りないのではないか。
- 答 1名で対応できると考えている。

上牧第二小学校家庭科室改修工事について

- 問 学校の改修工事については、教育委員会と学校とが連携を密にして授業に支障が出ないように対応してほしいがどうか。
- 答 しっかり連携を取り対応していく。

教育委員会と学校との連携を

ひがし充洋委員



小学校費ICT整備リース料について

- 問 令和2年度予算で各小学校に3台追加するとしていたリース料が計上されていないのはなぜか。
- 答 昨年5月に教育委員会で検討した結果追加を見送ったため計上していない。
- 問 議会に追加すると説明し予算で承認された事業なので、見送った段階で補正対応するのが議会との連携という観点から必要ではないか。
- 答 今後はしっかり対応していきたい。

健民グラウンドメンテナンス整備工事について

- 問 工事内容と面積を考えるとかなり安価な設定だが対応できるか。
- 答 専門業者に見積もりを依頼し施工予定なので対応できる。

以上採決の結果、
全委員異議無く可決するものと決しました。

国民健康保険特別会計予算

- 問 本予算編成にあたっての新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響の考え方について。
- 答 影響額が不透明な部分もあり、ひとつの根拠としてリーマンショック時の情報を用いて所得割について6%の減収予測をした。
- 問 保険給付費への影響は。
- 答 昨年の緊急事態宣言発令中はかなりの受診控の影響がみられたが、以降は徐々に回復傾向にあると予測し、令和元年度の実績から算出するルールを作り予算編成をした。



後期高齢者医療特別会計予算

- 問 今後後期高齢者医療についてはますます重要になってくる。その中で特別徴収者が増えると徴収率も増えるのでその取り組みも必要と思うがどうか。
- 答 後期高齢者医療の適正化に取り組んでいきたいと思っている。

介護保険特別会計予算

- 問 総務費のうち一般管理費、需用費の増額要因は。
- 答 令和3年度より始まる第8期介護保険事業計画周知のパンフレット作成に伴う費用増である。
- 問 地域支援事業費のうち、通所、訪問型サービス事業委託料の減額理由は。
- 答 理学療法士の大勢いるリハビリ病院等でサービスを受ける事業だが、コロナ感染症対策のため病院に通所、訪問することが難しくなったためである。
- 問 地域支援事業費の中で、口腔機能向上教室事業委託料が計上されていない理由は。
- 答 口腔機能向上教室は、他の教室の授業に組み入れることにした。

下水道事業特別会計予算

- 問 下水道事業費の中で、侵入水対策簡易流量調査業務は、令和3年度で終了するのか。
- 答 原因が判明するまで調査を行う予定である。

水道事業会計予算

- 問 水道事業収益が前年度より減となった理由は。
- 答 町内大口利用者が水道水以外に井戸水を利用するようになったためである。
- 問 給水分担金 2,210万円の増額理由は。
- 答 新築件数約70件見込んだためである。
- 問 建設費のなかで、上牧1号配水池耐震補強工事は行われるが、2号配水池は耐震補強工事を行わない理由は。
- 答 耐震診断で耐震補強工事は不必要と判断した。

以上採決の結果、
全委員異議無く可決するものと決しました。



委員会審議の様子

総務建設常任委員会報告



上牧町機構改革に伴う関係条例の整理に関する条例

- 問** 機構改革を行う際に町として一番重要視したところは。
- 答** 町民サービスの向上や行政課題を図り、町民に分かりやすく機能的で効率的な業務体制の確保を目指し、組織的な支援につなげる体制整備を可能とする組織編成を目指した。
- 問** 水道部が大きく変更となるが、職員の増減はどうか。
- 答** 部署の数は変わらず、部と課の数は5部17課と変更はない。
- 問** 縦割り行政をなくす観点で、今回の機構改革で重要視した点は。
- 答** 将来を見据えて、スリム化し、スキルを共有できるような体制を作った。
- 最重要施策である学校適正化については、教育委員会事務局内に部長が統括する担当係を設けた。

令和2年度一般会計補正予算(第10回)

(歳入)

- 問** 地方創生臨時交付金、第3次交付限度額繰越分1億1,764万円を活用し、令和3年度に予定している交付金事業の進捗状況は。
- 答** 現在、各部課から事業計画が上がっているところで調整中である。
- 問** 町民の感染予防対策として、庁舎やワクチン接種が始まる上牧町保健福祉センター等の町の主要施設に、交付金を活用しデジタル自動検温機を設置してはどうか。
- 答** 自動検温機については、事業計画に挙げていければと考えている。

(歳出)

道路橋梁費補助金について

- 問** CBR調査の施工場所の選定方法と傷んだ水路等の改修工事は。
- 答** 各自治会からの要望等をもとに、改修の必要な場所は調査を行い、予算がつき次第施工していく。

防犯カメラ設置工事について

- 問** 現在町内に24台設置されているが、計画の36台設置後、増設の見込みは。
- 答** 今のところ、増設の予定はないが、年1回地域の安全点検会議を町、土木事務所、警察と行い、新しい宅地や危険箇所等を協議の上、必要であれば考える。

パワーアップ・クーポン券発行事業について

- 問** 令和2年7月22日の第5回補正で2億3,916万9,000円を計上、内クーポン券負担額は、2億2,193万円となっているがその執行状況は。
- 答** クーポン券の換金総額は2億1,645万5,000円、予算総額は2億2,193万円であったが、対象者は少し減り、2億2,184万円となり、執行率は97.5%で、また書留郵便の不達件数は23件であった。



不動産売払収入について

- 問** 不動産売払収入1,332万5,000円は、第三セクター等改革推進債償還基金費に積立てするが、今後の償還計画については。
- 答** 令和5年度に利率の見直しが行われるので少しでも繰り上げ償還し、縮減できればと考えている。今回の基金積み立て費用は、令和3年6月議会に令和2年度の繰越金とともにいくらかの繰り上げ償還をと考えている。

以上採決の結果、
全委員異議無く可決するものと決しました。

文教厚生常任委員会報告



上牧町介護保険条例の一部改正

- 問 第7期介護保険事業計画の事業に対する評価と、第8期介護事業計画推進の考え方は。
- 答 近年になり要介護3以上の重度化が増え施設給付費が増加傾向にある。まずは介護予防の推進、現状サービスを利用して頂いている方の重度化を減らすような施策を実施していきたい。今後は、7町で連携しマニュアルを作成し、病院等とも連携し、利用者にあったサービス提供ができるよう進めていきたい。
- 問 介護保険第8期(令和3年度～5年度)計画により保険料は基準額で、月額300円値上げの5,300円になるが、認定者の増加以外の特徴は。
- 答 介護報酬改定で0.7%増、奈良県地域医療構想による訪問看護などの在宅サービスの増加を見込んでいる。

令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第4回)

- 問 新型コロナウイルス感染を警戒しての受診控えの状況は。
- 答 緊急事態宣言の5月診療分で、対前年度同月比およそ20%ほど落ち込みがあったが、徐々に回復傾向にあると見込んでいる。

令和2年度介護保険特別会計補正予算(第4回)

- 問 コロナ禍に於いて、サービス等を敬遠されてる方はどのぐらいおられるのか。
- 答 例えば軽度認定者の方で認定は受けられるが、サービスは受けられない方もおられる。以前からその傾向はあったので、コロナ禍だから多いというわけでもない。

令和2年度水道事業会計補正予算(第3回)

- 問 水道事業費用の受水量増額補正理由は。
- 答 昨年10月28日に発生した服部台での漏水事故の影響もあるが、コロナ自粛による在宅時間増加による受水量の増加が一番の原因と考えている。

以上、採決の結果、
全委員異議無く可決するものと決しました。

委員会に付託しなかった議案

令和2年度一般会計補正予算(第9回)

- ☆専決処分報告
新型コロナウイルスワクチン接種事業が緊急を要することから、1月26日に専決されました。4,440万円の増額補正です。
- 問 職員の時間外勤務手当が150万円計上されているが、町の負担か。
- 答 国庫補助金の対象となる。

上牧町議会会議規則の一部改正

- ☆議員提出議案
欠席の届出について、傷病・出産・育児・介護等やむを得ない事由を明記しました。

人事案件 以下の方が選任・同意されました。

政治倫理審査会委員の選任

前田 春樹さん(大阪市) 再任 隅田 泰徳さん(友が丘) 再任
林 智良さん(伊丹市) 再任 永井 實さん(上牧) 再任
西田 久美子さん(桜ヶ丘) 再任 村井 映子さん(片岡台) 再任
篠崎 雄爾さん(桜ヶ丘) 再任

人権擁護委員候補者の推薦

竹島 正貴さん(片岡台) 新任
中村 直美さん(桜ヶ丘) 新任

副町長の選任

阪本 正人さん(上牧) 新任

教育長の任命

松浦 教雄さん(上牧) 再任

以上、採決の結果、全議員異議無く可決しました。

令和3年3月
(令和3年3月5日～3月25日)

定例会の議決結果

○賛成 ●反対 ー除斥 ×棄権 空白は欠席

議案名	議決結果	遠山健太郎	東初子	上村哲也	牧浦秀俊	竹之内剛	吉中隆昭	富木つや子	康村昌史	木内利雄	石丸典子	東充洋	服部公英
専決処分報告について 令和2年度上牧町一般会計補正予算(第9回)について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専決処分報告について 上牧町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専決処分報告について 上牧町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専決処分報告について 上牧町介護保険条例の一部を改正する条例について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町機構改革に伴う関係条例の整理に関する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
上牧町公告式条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長
上牧町介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	は
上牧町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採
上牧町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	決
上牧町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	に
上牧町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	加
奈良県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び奈良県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	わ
公の施設の指定管理者の指定について(20件)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	り
上牧町道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ま
令和2年度上牧町一般会計補正予算(第10回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	せ
令和2年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算(第4回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ん
令和2年度上牧町介護保険特別会計補正予算(第4回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和2年度上牧町下水道事業特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和2年度上牧町水道事業会計補正予算(第3回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上牧町一般会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上牧町国民健康保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上牧町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上牧町介護保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上牧町下水道事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上牧町水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町政治倫理審査会委員の選任について(7件)	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員候補者の推薦について(2件)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和2年度上牧町一般会計補正予算(第11回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
副町長の選任について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教育長の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

あなたの声を町政に！

一般質問一覧

上牧町の行政事務全般について、各議員が町側に考えを聞くのが一般質問です。

各議員は政策提言も含めて質問をすることができ、上牧町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、一般質問原稿について、それぞれ質問をした各議員自らが要約し、編集したものをそのまま掲載しています。そのため記事により一部表現が異なる場合がありますがご了承ください。

遠山健太郎	上牧町の将来像について
牧浦 秀俊	1.新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の「学びの保障」総合対策の総括 2.新型コロナウイルスワクチン接種について
あずま初子	1.お悔やみコーナーについて 2.重層的支援体制整備事業について
上村 哲也	がん患者等への支援について
石丸 典子	1.4期目の町政運営について 2.PCR検査について 3.西和医療センターの移転計画について 4.ワクチン接種とマイナンバーについて
康村 昌史	1.上牧町の農業について 2.上牧町のマリッジサポーターについて
富木つや子	1.誰もが安心して暮らせるまちづくりについて 2.超高齢化社会への対応について
竹之内 剛	1.町主催の行事、並びに公共施設の利用について 2.高齢者の介護予防対策について
木内 利雄	1.障がい児(者)に優しいまちづくりについて 2.新型コロナウイルスの感染症対策について
ひがし充洋	1.『自然を活かした魅力ある町づくり』について 2.福祉について 3.『上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略』について

議会日誌

1月

- 9日 町消防団出初式
- 12日 広報委員会
- 19日 北葛城郡町議会議長会
- 28日 国民健康保険運営協議会



2月

- 3日 静香苑環境施設組合議会
- 9日 北葛城郡町議会議長会定期総会
- 10日 葛城地区清掃事務組合議会
- 12日 山辺・県北西部広域環境衛生組合議会
- 24日 議員懇談会

3月

- 1日 議員懇談会
- 2日 町社会福祉協議会理事会
- 3日 議会運営委員会
- 5日 第4回定例会(初日)
- 5日 広報委員会
- 8日 総務建設委員会
- 9日 文教厚生委員会
- 11日 奈良県町村議会議長会定期総会
- 12日 予算特別委員会
- 15日 予算特別委員会
- 16日 予算特別委員会
- 19日 一般質問(5名)
- 23日 一般質問(5名)
- 24日 町社会福祉協議会評議員会
西和区分・大和郡山市合同報告会
- 25日 第4回定例会(最終日)
- 26日 町シルバー人材センター理事会
- 29日 王寺周辺広域市町村圏議長会
- 30日 王寺周辺広域市町村圏協議会



上牧町の出会い 結婚応援事業の将来は？



遠山 健太郎

全町挙げての事業を
目指して…

問 上牧町で実施している『出会い結婚応援事業』の将来像をうかがいたい。

答 この事業は2016年、なんとか上牧町の出生率を上げるべく、人口減少・少子化対策として若者世代の晩婚化に歯止めをかけるために始まった事業である。この5年間で4組の成婚、そしてその内1組には赤ちゃんも誕生した。これもひとえにマリッジサポーターの方々の力の賜物以外にも、結果が伴っている以上、本事業の縮小や廃止はあり得ない。それよりも、むしろこれからは町全体で取り組むべきであると考えている。出会い結婚から、出産・育児・子育てという長いストーリーを、全町挙げてそれぞれの専門的部署の力を集約して取り組んでいければと考えている。今回の機構改革はまさにその一歩である。この出会い結婚応援事業は、上牧町の少子化対策の一役を担う、まさに『翼』になると信じているしそう願っている。



コミュニティバスにも広告掲載!!

問 限られた授業日数の中で、効果的に指導はどうしたのか。

答 学校再開後、感染対策を十分行いながらグループで意見を出しあったり、小集団で、算数(数学)などの問題をいろいろな角度から解きあうなどの方法を取り、学校でしかできない学習を意識して指導した。反復ドリルなど一部を家庭の宿題に、後日学校で確認作業をした。子どもたちが主体的に考え、表現する能動的な授業を中心に多く取り上げてきた。

問 文科省から、学習指導員などを配置できたがどのように追加配置したのか。

答 上牧小中学校では、6名の大学生などを配置し、理解不足の生徒を補佐することにより、授業が遅れないようにも工夫した。

問 ICT活用によるオンライン学習の確立はできたのか。

答 児童生徒にひとり1台のパソコンを3月中に整備することになっている。学校の通信環境の必要な工事は完了している。端末の家庭持ち帰りはある程度パソコンによる学習を進めて、児童生徒が操作に慣れた1学期をめどに考えている。ICTによるオンライン学習は、令和3年4月から行う予定である。

コロナ禍の小中学校で 「学びの保障」は

限られた授業日数で
どうする？



牧浦 秀俊

ご遺族支援(おくやみ)コーナーについて



あずま 初子

窓口一括手続で負担軽減を！

問 家族を亡くされた障がいのある方や高齢の方が、行政手続きを行う際の負担が大変大きく「その負担を軽くしてほしい」とのお声があり、2019年12月定例会の一般質問にて「ご遺族支援おくやみコーナー」の設置を提案させていただきました。その後の手続き窓口の現状をお伺いします。

答 窓口設置には至っていないが、現在総合窓口には職員も常駐しており、『暮らしの手続きチェックリスト「おくやみ」』に各課の配置図も掲載する等改善を努めている。

問 各課を移動することなく総合窓口にて、一括してサービスを実施することで、更なる住民サービスの向上、窓口業務の時間削減にもつながると思いますが、ワンストップで手続きを行う事は可能ですか。

答 総合窓口で全ての手続きが一括してできるよう努める。

問 周知方法を伺います。

答 かんまき広報、ホームページに掲載し、住民にお知らせする。



問 現在がんは、死因の第1位を占め続ける国民病であり、治療に伴う副作用による後遺症で脱毛・顔色の変化・爪の変色等の症状により、外見の変化を初めとした身体的、精神的な負担と共に、治療を受けながら社会復帰を希望される方に、本町では、どのような支援がありますか。

答 窓口で、がん相談ホットラインのリーフレットの設置等をしています。

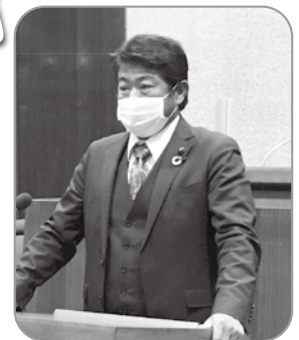
問 医療の進歩により、がんになっても長期生存率が上昇傾向にある中で、がんとの共生の観点から治療を受けながら働ける時代となってきました。抗がん剤治療をおこないながら、日常生活、買い物や仕事、そして食事など社会生活を送るうえで、精神的な苦痛が問題となっており、社会復帰に向け、外見などで悩んでいる方々に対して、医療用ウィッグや乳房の補正具等の購入時の助成を行うべきだと考えるが、今中町長の考えをお聞かせ願います。

答 放射線治療により様々な症状がでてくることは認識しているが全部を把握は出来ておらず、本町も検討しつつ、県内の助成を行っている数団体の話を聞き、調査・研究してまいります。

問 副作用に苦悩されている患者さんも多いと聞く中、少しでも早い実現に向け、上牧町独自の検討をお願いいたします。

答 検討します。

がん患者の方々へ社会復帰への助成を!!



上村 哲也

医療用器具への支援について!!

弱者に寄り添う政治を



石丸 典子

議会と町長が緊張感を持って

問 この1年間コロナ危機を体験し、命を守り生活を支援する行政の重みをこれまで以上に感じています。町長4期目の重点施策と、コロナのような災害に対応する職員体制について伺います。

答 「健やかな心身と穏やかな暮らしをつくる」をローガンに5つの柱で施策を進めていきます。特に、令和2年度から協議会で議論していただいている、小中学校の適正化は令和5年度から取り組めたらと考えています。学校の統廃合と認定子ども園を視野に入れています。

生活支援としては、2人目の子どもの保育料を無料にすることと、水道料金の従量割20円の引き下げを行います。職員の体制については、素早い対応ができるように努力していることと、住民の立場に寄り添う対応に心掛けています。

問 上牧町議会は県下で唯一、日本共産党を含むオール与党議会と言われています。しかし、町長と議会は、独自性と役割を発揮してこそ町政の発展が見込めます。常に緊張感をもって、町民の目線から「是々非々」の立場で提案をしていきます。

答 議会との関係は、この十数年間で信頼関係が積み重なったものと思っています。

問 マリサポの五年間の成果と課題は。

答 平成28年度は、上牧町の出生率が1.09と奈良県下で下から2番目。婚活イベントだけでなく結婚を希望する人への支援、結婚応援ができる人の養成が必要であると考え、平成28年度から養成講座を始め第1期生5名からのスタート。現在4期生まで14名がマリサポとして活動中。現在まで4組のご成婚と1人のベビーの誕生となった。

課題点は、コロナ禍で集客しての婚活イベントの開催が難しく、オンライン婚活イベントの開催を模索している。

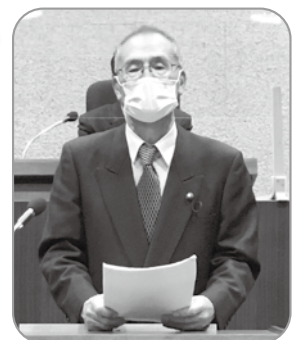
問 今後のマリサポ運営は、独立した団体になるよう指導されているが。

答 マリサポの設立当初から将来的に独立した団体を目指して運営してきた。NPO法人が任意団体だが、上牧町も共に、出会い・結婚事業を行っていく。

問 どちらの団体になっても、①活動を始めるまでの初期投資額イニシャルコストの負担 ②活動の維持、運営資金オペレーティングコスト ③上牧町からの委託事業となるイベント企画費。これら3つの財源の手当は。

答 今後マリサポ会議で決定する。

かんまき未来創造
マリッジサポーター



康村 昌史

五年間の成果と課題について

「健やかな心身と
穏やかな暮らし」を指針に



富木 つや子

これからの町長の
まちづくりは

問 今中町長は、4期目にあたり子どもから高齢者まで「健やかな心身と穏やかな暮らしを作る」を大きなタイトルとして、これからの町政運営に取り組むと述べられました。今後の4年間の重要施策等について伺います。

答 まず、少子化を見据え、未来の子ども達の学校の設置が適正であるかどうかについて現在、学校適正化協議会の中で協議を重ねている。心身ともに健やかに学校生活を送れる環境づくりを上げることが我々の責任である。令和5年度を目途にしっかり進めていく。また、子育て世代の定住も重要である。令和3年度から2子目の保育料と学童保育料の無料化を実施し、子育てしやすい環境づくりに取り組む。高齢者が日々健康で穏やかに暮らしていただくために、場所の提供など活動のサポート等を積極的に行う。今後4年間全力でまちづくりに取り組む。



問 コロナ禍で町行事等について、現時点では、感染予防対策を徹底して開催する方向という認識で良いか。また、コロナ禍でストレスや高齢者の孤立化、運動不足増強等の問題が生じている。そこで、健民グランド、ペガサスホールの小ホール、2000年会館のゲートボール場の利用時間の変更、濁池横の元ゲートボール場など一部休眠している施設を含めた公共施設の施設利用に関する方針は。

答 町行事については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら開催する方向で考えているところである。また公共施設に関しては、現在2分の1の人数制限を設けて利用して頂いている。住民の運動不足の解消については、健民グランド、桜ヶ丘の東公園のグランドを活用して運動不足解消のために利用して頂けたらと考えている。そして、高齢者対策としては、各地区の集会所の施設を、人数制限等の感染予防対策を講じて利用して頂けたらと考えている。



コロナ禍における
公共施設利用について

運動不足やストレス
解消の場の提供を！



竹之内 剛

学校・障がいのある子どもの 多様性の尊重を



木内 利雄

インクルーシブ教育の 拡充を求める

問 障がいのある子どもの多様性を認め、入級(選択する学級)については本人や保護者の意見を尊重して判断することとなっているが、上牧町の取り組みについて伺う。

答 本町では教育支援委員会を設置している。その構成メンバーは各幼稚園長・各小中学校長そして保育所、幼稚園、小中学校の各施設の特別支援コーディネーター・医師2名・西和養護学校・福祉団体の代表で構成し、年に3回開催。

1回目は、6月初旬で委員研修を行い、各施設で気になる子どもの現状について、情報交換。次に6月末に開催、小中学校に新入学予定の児童生徒について、保育所・幼稚園・小学校のコーディネーターから状況と入学後の保護者の希望が報告される。

この報告を受け、8月ごろに面談を行う。面談は在籍校のコーディネーターと入学希望校の校長とコーディネーター、そして教育支援委員会委員と事務局の6人程度で行うなどの過程を経て、本人や保護者の意見を尊重し、特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室などの入級を決めていく。

問 インクルーシブ教育システムの構築をしっかりとされるように求めておく。

答 検討します。

問 『滝川遊歩道の整備』『片岡城跡の整備』『上牧久渡古墳群の公園整備』『歴史ガイドボランティアの養成』を今中町長は目指す町づくり構想として選挙公約に示されました。住民のみなさんから「片岡城址を整備し、桜を植樹されてよくなった。秋にはもみじなどの紅葉も楽しめるようにしてほしい。」また、「片岡城址を展望台にしてほしい。民有地の樹木を勝手に伐採できないが所有者に協力を得て畠田方面から城址が見えるようにしてほしい」との要望があります。上牧町の見解を伺います。また、『歴史ガイドボランティアの養成』について、NHKの『ならナビ』でも紹介されましたボランティアガイドはいつ実施されるのか説明を求めます。

答 片岡城址の整備については今後行う予定です。その時にご要望も含めた検討を行ってまいります。展望台については、町長も同様の考えを持っており、地権者の協力が得られているので、担当課が整備計画を行うことになっています。歴史ボランティアについては、秋以降に活動を開始する予定です。

自然を活かした魅力ある 町づくりについて



ひがし 充洋

ふるさとの歴史を 語ろう



Catalog Pocket

議会だよりを多言語・読み上げアプリで配信します。

多言語・自動読み上げでスマートフォンやタブレットから読めるようになりました。専用のアプリ(無料)をダウンロードするだけで簡単にご覧いただけます。

広報誌無料配信アプリ



議会だよりもご覧いただけます。

右のQRコードを読み込んでください。



↑上牧町ホームページの全体です。

議会・委員会のYoutube配信について

議会は公開が原則です。

議会の傍聴は、町民を代表する議員が、公の立場で町の仕事について審議や評決を行う様子を実際に見聞きすることができ、住民の意思がいかに反映されているかを知るうえで、大変有意義なことです。

上牧町では、議場や委員会室に傍聴に行けなくとも、ホームページ上のYoutubeで、議会のライブ中継、そして録画中継で、審議の内容を確認することができます。

上牧町議会は町民の皆様身近で開かれた議会を目指します。



右側にあるこちらをクリックしてください。

5月の臨時議会は 5月10日開催予定

- ・第1回上牧町議会臨時会
令和3年5月10日(月)
午前10時から
- ・議会運営委員会
令和3年5月6日(木)
午前10時から

編集後記

お問い合わせ ☎ 0745-76-1001
fax 0745-76-1003

▼令和3年5月より高齢者の新型コロナウイルス感染症ワクチン接種が予定されています。これにより感染拡大防止が期待されるところで

▼私達上牧町議会議員はコロナ禍であっても、皆様安心して生活のできる町づくりを考えて行きたいと思えます。

広報委員会
委員長 竹之内 剛
副委員長 上村 哲也
委員 遠山健太郎
委員 あずま初子
委員 牧浦 秀俊
委員 康村 昌史
委員 石丸 典子